



2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月9日

2012年3月期 第2四半期決算の概要

震災の影響により、4月から5月にかけて広告の販売に一時的な機会損失が発生。一方、スマートフォン対応への先行投資を積極的かつ継続的に実施し、サービスの提供基盤を着実に構築。

2 Q累計の連結業績の売上高・営業利益は、ほぼ期初計画を達成。

前年同期は、税効果会計の適用により、税金費用が抑えられていたが、前連結会計年度末で課税所得と相殺可能な繰越欠損金が無くなり、今期より法定実効税率並みになった。

- スマートフォンへの対応(プリインストール、リニューアルなど)を積極的に推進。
先行投資に伴う人員増により、前年同期と比べ労務費・人件費が43百万円増加。
- 東日本大震災によってキャンペーンが延期・中止されたため、キャンペーンに依存した広告の販売において一時的な機会損失が発生(15百万円)。
- 顧客満足度(CS)ランキング連動型広告は、震災の影響をほぼ受けず、堅調に推移。ジャンルの追加も奏功。前年同期比17.7%増。
- 着うたフルは、前年同期と比べ3.6%増。今期の第1四半期と第2四半期は、ほぼ横ばいで推移。着メロと着うたは、市場の縮小に伴って、売上が減少。
- データサービス事業は、放送局向けのデータ販売が回復。「ORICON BiZ online」も着実にストック型の売上がアップ。
- 今期より税金費用が法定実効税率並みになったため、四半期純利益の減少率が経常利益の減少率を上回った。

売上高	:	3,293百万円	(前年同期比 1.1%減)
営業利益	:	483百万円	(前年同期比15.7%減)
経常利益	:	432百万円	(前年同期比21.2%減)
四半期純利益	:	196百万円	(前年同期比46.5%減)

連結損益計算書



(単位: 百万円)	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	増減	
			金額	増減率
売上高	3,330 (100%)	3,293 (100%)	▲ 36	▲ 1.1%
売上原価	1,939 (58.2%)	1,951 (59.2%)	11	0.6%
差引売上総利益	1,390 (41.8%)	1,341 (40.7%)	▲ 48	▲ 3.5%
販管費	816 (24.5%)	858 (26.1%)	41	5.1%
営業利益	573 (17.2%)	483 (14.7%)	▲ 90	▲ 15.7%
経常利益	548 (16.5%)	432 (13.1%)	▲ 116	▲ 21.2%
税金等調整前 四半期純利益	539 (16.2%)	397 (12.1%)	▲ 141	▲ 26.3%
四半期純利益	366 (11.0%)	196 (6.0%)	▲ 170	▲ 46.5%

増収要因

- ・WEB事業[15百万円増(3.2%増)]
震災による一時的な機会損失15百万円が発生
- ・データサービス事業[27百万円増(8.9%増)]
- ・着うたフル[46百万円増(3.6%増)]

減収要因

- ・着うた[60百万円減(23.3%減)]
- ・着メロ[44百万円減(18.9%減)]
- ・雑誌事業[12百万円(1.8%減)]

スマートフォン対応などの先行投資に伴って人員が増加。
労務費(売上原価)及び人件費(販管費)が43百万円増加。

支払利息は減少したが、持分法による投資損失など営業外費用が増加。営業外収益も前年同期と比べて減少。
経常利益の減少率が営業利益と比べて大きくなった。

特別損失として、投資有価証券売却損26百万円、災害による損失10百万円を計上。

前年同期には税効果会計の適用により、税務上発生した繰越欠損金が税金費用を抑えていたが、前連結会計年度末で課税所得と相殺可能な繰越欠損金がなくなり、今期においては税金費用が、法定実効税率並みになり、前年同期と比べ、32百万円増加。

セグメント別売上高(前年同期との比較)



(単位:百万円、百万円未満を切捨て)	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減	
			金額	増減率
WEB事業	488	504	15	3.2%
CSランキング連動型広告の販売	195	230	35	17.7%
その他の売上	293	274	▲19	▲6.5%
モバイル事業	1,828	1,764	▲63	▲3.5%
着メロ	232	188	▲44	▲18.9%
着うた	259	199	▲60	▲23.3%
着うたフル	1,261	1,308	46	3.6%
情報系	75	64	▲11	▲14.6%
スマートフォン関連	0	5	5	—
雑誌事業	698	685	▲12	▲1.8%
データサービス事業	310	337	27	8.9%
その他	4	1	▲3	▲71.0%
売上高合計	3,330	3,293	▲36	▲1.1%

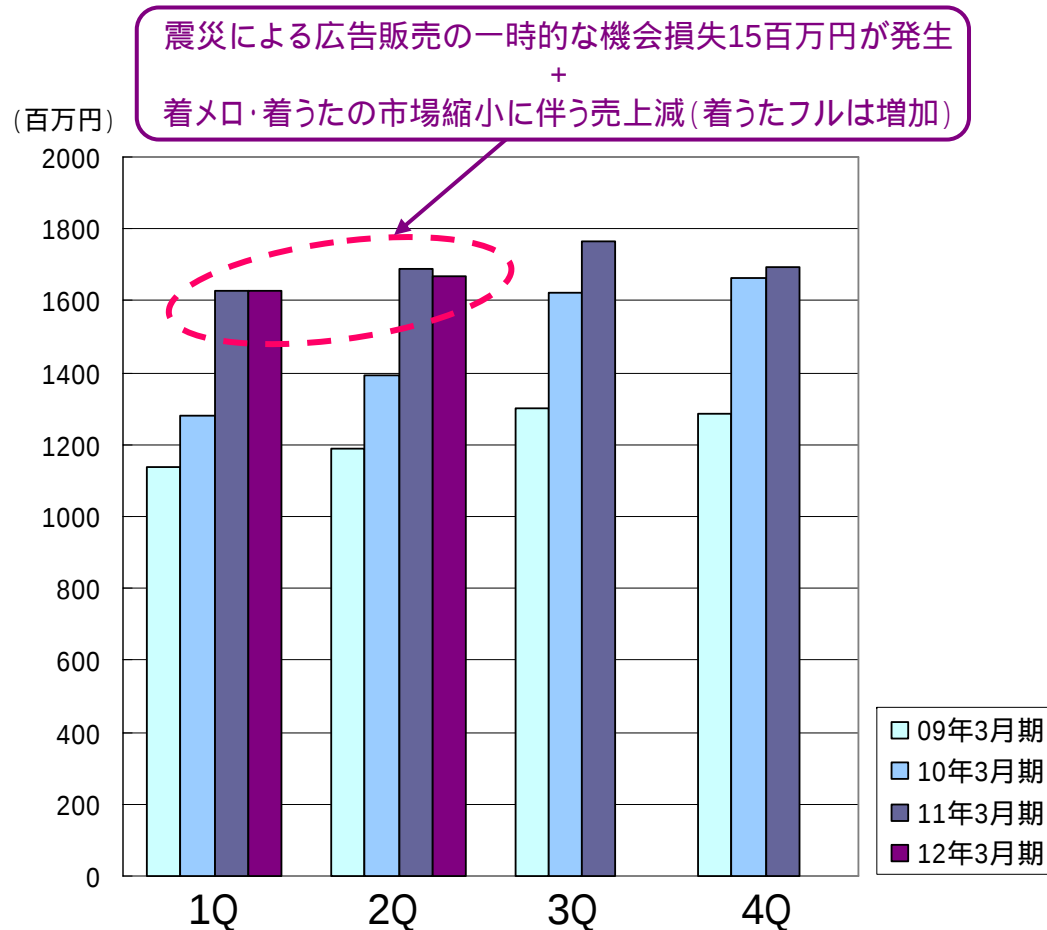
2012年3月期第2四半期においては、東日本大震災の影響による一時的な機会損失として15百万円が発生

セグメント別売上高(期初予想値との比較)

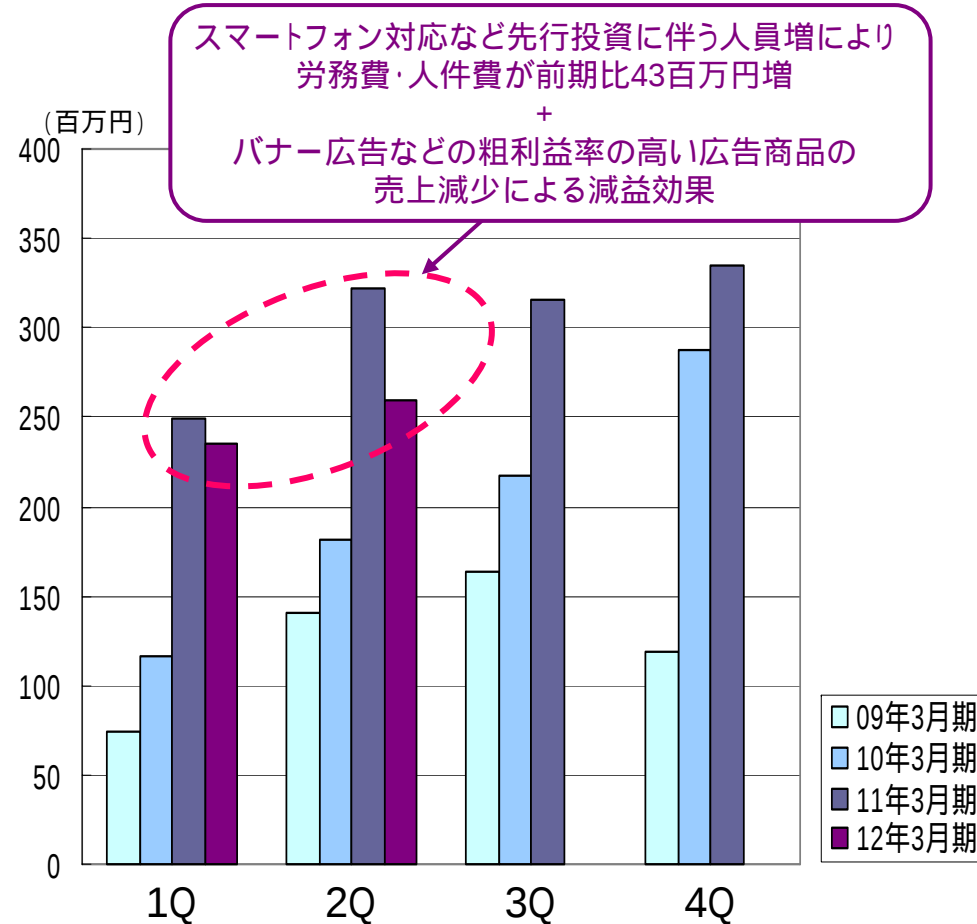


(単位:百万円、百万円未満を切捨て)		2012年3月期第2四半期		達成率 (B / A)
		期初予想値(A)	実績値(B)	
WEB事業		524	504	96.2%
	CSランキング連動型広告の販売	216	230	106.5%
	その他の売上	308	274	89.0%
モバイル事業		1,787	1,764	98.7%
	着メロ	194	188	96.9%
	着うた	204	199	97.5%
	着うたフル	1,293	1,308	101.2%
	情報系	65	64	98.5%
	スマートフォン関連	32	5	15.6%
雑誌事業		684	685	100.1%
データサービス事業		340	337	99.1%
その他		5	1	20.0%
売上高合計		3,340	3,293	98.6%

売上高



営業利益



2009年3月期については、連結除外となったORICON CNS Inc. とフランクリン・ミント株式会社の数値を除いております。

連結業績予想に対する達成率・進捗率



	第2四半期累計期間			通期	
	期初予想値 (A)	実績値 (B)	達成率 (A / B)	期初予想値 (C)	進捗率 (B / C)
(単位: 百万円)					
売上高	3,340	3,293	98.6%	7,060	46.6%
営業利益	460	483	105.0%	1,250	38.6%
経常利益	410	432	105.4%	1,160	37.2%

今期の「期初予想値」は、2011年5月9日に公表した数値

概ね期初の計画に沿って進捗しており、第3四半期、第4四半期の見通しについても、現時点において期初の計画から大きく乖離するものではないため、通期の業績予想数値に変更はありません。

連結貸借対照表



(単位:百万円)		2011年3月期末	2012年3月期 第2四半期末	増減
資産合計		5,060	4,908	▲ 152
	流動資産	2,802	2,680	▲ 121
	有形固定資産	315	335	19
	無形固定資産	1,006	984	▲ 21
	投資その他の資産	929	902	▲ 26
	繰延資産	6	4	▲ 1
負債合計		2,890	2,684	▲ 206
	流動負債	1,793	1,751	▲ 42
	固定負債	1,097	933	▲ 164
純資産合計		2,169	2,223	54
	株主資本	1,865	1,910	45
	その他の包括利益累計額	▲ 17	▲ 22	▲ 5
	新株予約権	▲ 5	▲ 4	1
	少数株主持分	326	339	13

- 総資産は152百万円減少。現金及び預金は289百万円増加したが、売掛金、のれん、投資有価証券が減少。
- 長期借入金が116百万円減少、未払法人税等が184百万円減少。負債合計は206百万円減少。
- 純資産については、四半期純利益196百万円を計上したものの、配当金126百万円の支払、自己株式24百万円の取得があり、54百万円増加。 自己資本比率は38.5%となり、前期末比2.0ポイント上昇。

連結キャッシュ・フロー



(単位: 百万円)	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	前年同期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	493	636	142
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 436	▲ 123	313
財務活動によるキャッシュ・フロー	83	▲ 216	▲ 299
現金及び現金同等物の増減額	140	296	155
現金及び現金同等物の期首残高	897	737	▲ 159
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,037	1,033	▲ 3

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

12年3月期2Qにおいては、還付法人税等の回収、売上債権の減少等があり、前年同期と比べ、営業活動によって得られた資金の額が増加。(12年3月期2Qの得られた資金: 636百万円)

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

前年同期には、業務提携に伴う株式の取得があったが、12年3月期2Qにはなく、投資活動によって減少する資金の額が前年同期と比べ減少。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

12年3月期2Qにおいては、前年同期になかった配当金の支払があったため、前年同期と比べ資金が減少。

スマートフォン向けサービスの強化・拡充の状況

楽曲ラインナップを拡充

配信楽曲の充実を図るため、レコード会社各社と継続的に交渉を行い、配信可能楽曲が増加。10月以降、フィーチャーフォン向けの着うたフルと同水準の楽曲ラインナップに。

対応端末が増加

通信キャリアごとに端末に搭載されているDRM(デジタル著作権管理)の形式が異なるため、それぞれに対応するシステムを開発。11月中旬の大幅リニューアル(後述)で、NTTドコモのPlayReadyにも対応を開始し、3キャリアの端末(DRMが搭載されているもの)には全て対応。

課金決済方法を拡充

11月中旬の大幅リニューアルで、SoftBankの月額決済を導入。これによって、3キャリア全てにおいて、都度課金と月額課金のいずれにも、キャリア決済とクレジットカード決済の両方が対応。

本格的にサービスを展開できるステータスに入った！

スマホ向け音楽配信サービス～リニューアル



11月中旬に大幅なリニューアルを実施し、サービスを拡充！

- (1) 「オリコンスタイル」から「オリコンミュージックストア」にサービスブランドを変更

「オリコンミュージックストア」は総合サイトと位置づけ



- (2) 専門ジャンルサイトを立ち上げ



「オリコン洋楽ミュージックストア」「オリコンCLUBミュージックストア」「オリコンインディーズミュージックストア」「オリコンアニメミュージックストア」

フィーチャーフォン向けの着うたフルでも、同様の専門ジャンルサイトを運営し、収益を拡大させてきた実績が有り。当社グループ内にノウハウが蓄積。

上記の5サイトは、NTTドコモが開始予定のdメニューに登録。また、iモードのマイメニューの会員情報をスマートフォンへ引き継ぐサービスにも対応。

上記の5サイトそれぞれで付与される月額会員のポイントは、5サイト全てで共通利用が可能。

スマホ向け音楽配信サービス～リニューアル



(3) 編集を強化し、コンテンツを拡充

11月中旬の大幅リニューアル後のTOPページのイメージ

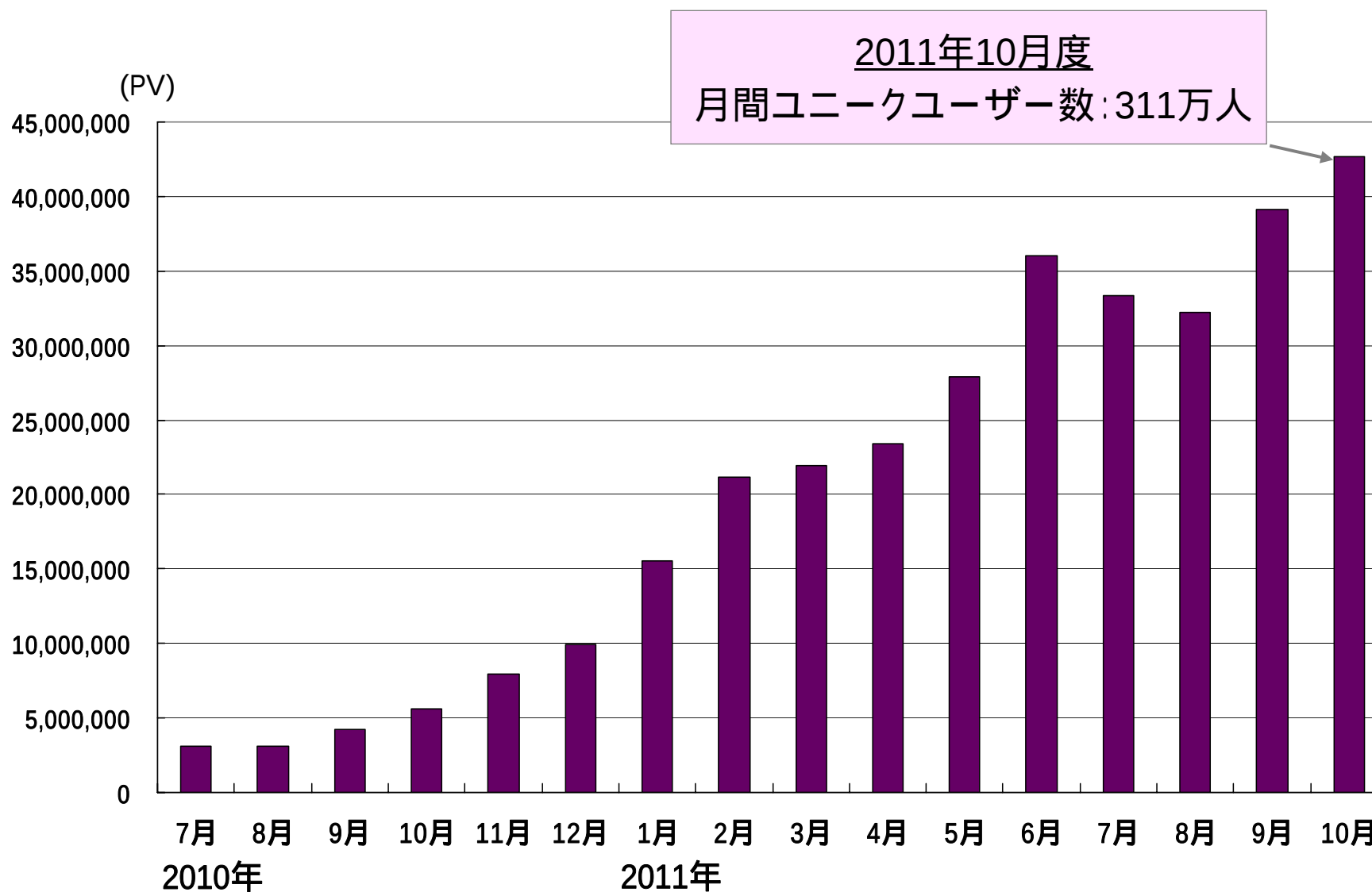


本年9月度のスマホ向け音楽配信の売上高は、6月度と比べ約3倍に増加。

10月よりスタートしたKDDI「au one」のメニューリストにおいて、現在、「音楽・映像」カテゴリーで1位をキープ。

今回の大幅リニューアル以降も、継続的にCDランキング、最新ニュースなど当社グループのユニークなコンテンツを強化。コンテンツの更新頻度を高め、ユーザーのサイト来訪を促進。これまでPC向けサイトを運営し、培ってきたサイトの編集制作ノウハウを最大限活用。コンテンツで集客し、楽曲ダウンロードを活性化させてまいります。

スマートフォンにおける閲覧数の推移



「オリコンソーシャルゲームランキング」



スマートフォンにおいてソーシャルゲーム市場が活況になってきており、
今後さらに市場規模が拡大する見通し。

「オリコンアプリランキング」ではカバーできていないソーシャルゲームについて、
ユーザー満足度調査を行い、その結果に基づいてランキング化する
「オリコンソーシャルゲームランキング」の開発に着手。

当社グループがスマートフォン向けに提供している様々なアプリ、スマートフォンに
最適化されたWEBページ(10月度月間ユニークユーザー数:311万人)に
「オリコンソーシャルゲームランキング」を掲載し、そのランキングから直接、
ランクインしているゲームの利用開始ページ、またはダウンロードページに
ユーザーを誘導。これを広告商品として、ゲーム提供会社に販売。

<WEB事業の顧客満足度(CS)ランキング連動型広告と同一の広告モデル>

「オリコンソーシャルゲームランキング」



当社グループのスマートフォン向けの全ページに「オリコンソーシャルゲームランキング」を掲載



「オリコンソーシャルゲームランキング」



各ソーシャルゲームの
利用開始ページ
または
ダウンロードページ



当社グループのスマホに最適化されたWEBページ、および
様々なアプリに「オリコンソーシャルゲームランキング」を掲載。
各ゲームの利用開始ページ、もしくはダウンロードページへ
効率良くユーザーを誘導。
デモを行ったところ、CTR(クリック率)は8.0%と高い。
クリエイティブを向上させ、さらにCTRを高めてまいります。

- 音楽配信サービス
- 「オリコンソーシャルゲームランキング」や「オリコンアプリランキング」をはじめ、スマホ向けのコンテンツ、サイト、サービスをユーザー満足度に基づいて可視化(ランキング化)する広告ビジネス
- 顧客満足度(CS)ランキング連動型広告のスマホ対応



Googleの検索結果における上位表示

(表示順位の事例)	「スマホ アプリ」	1位	
	「ランキング」	1位	
	「自動車保険」	3位	
	「英会話」	3位	<2011年11月8日現在>

この資料に掲載されている今後の戦略・見通し等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

dメニュー、iモードは、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの商標または登録商標です。

PlayReadyは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

その他記載されている製品名、サービス名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

オリコン株式会社

IR用ホームページ <http://www.oricon.jp/>